

はいくたんか
俳句・短歌

利用者様、職員から作品を募集しました。一部ご紹介いたします。
お題「コロナ禍・今おもうこと」

→天然サウナ状態。
暑いけど マスクを外せず
つらい夏
フラベチーノ

→一次の波はいつまた。
もう我慢はしたくないです。

→お水と溢れる愛で開花します。
人々の 疲弊の響つ 町地蔵
風見鶏

→では度数お高めどうぞ。
早く咲け 朝に水やり 夜もやり
朝顔太郎

→網戸にならぶセミ達の抜け殻。
外食は お酒で消毒 口腔内
うっかり八兵衛

どうしたの？ 黙って並んで固まって
そうかこれから本番ね
Tomie

→一実ばわたしもマスクで七難隠しています。
逢いたいなあ でも会えないなあ
近くて遠い父想ひ
PANZO21

→一今すぐ特定保健指針を受けましょう。
つなごう！ 今と去年の
ベルト穴
パツンパツン

→一ゆらゆらしています。溶けそうです。
コロナの 陽炎を見て 猛暑かな
ひろくん

→一驚き、落胆、諦め。つらい思いを沢山しましたね。
コロナかあ ああコロナかあ コロナかあ
YUKO



令和4年11月発行

発行者：社会福祉法人東京援護協会
中村橋福祉ケアセンター

〒176-0021 東京都練馬区眞井 1-9-1
TEL 03-3926-7213 (生活介護事業)
03-3926-7214 (中途障害者通所事業)
FAX 03-3926-7216 (共通)

あはつ
ご挨拶

中村橋福祉ケアセンターに異動してきて半年以上経ちました。施設の小さい畑に植えた野菜たちが次々に収穫され、今度はサツマイモが収穫になります。今年のサツマイモの出来はどうか楽しみですが、来年は何を植えるのか考えるのも楽しみです。日々、利用者の皆さんが季節を感じていただけるようにと考えています。振り返ってみると、短い期間に社会全体の生活が激変する期間でした。まだコロナウイルス感染の様子を見ながらの施設運営を継続していますが、感染数が減少している状況が見られる中、少しずつ普通の生活に戻ってきている部分があります。季節が必ず廻ってくるように我々の激変した生活スタイルも必ず元に戻ります。ここまで皆さんと頑張ってきたのですから、あともう少し一緒に踏ん張っていきたいと思っています。

中村橋福祉ケアセンター 施設長 今井 克

けんしゅうほうこく
研修報告

SKILL UP!!

こうりゅうけんしゅう
交流研修

法人内で、日常業務における知識・技術を習得、業務の理解という目的で施設間交流研修を行っています。中村橋福祉ケアセンターでは10名が他施設で研修を行い、また他施設から10名を受け入れる予定です。異なる福祉分野や興味ある施設で学ぶことで、新しい発見や、視野と知識を広め、自分のスキルアップと知識向上を図っています。

生活支援係 看護師 三友

ほていめかにくすけんしゅう
ポディメカニクス研修

令和4年度衛生委員会では「腰痛予防」を目的とした講習会を企画しました。「ポディメカニクス」をテーマに理学療法士へ講師を依頼しました。これは「神経系や骨格系、筋系などの力学的相互関係を取り入れた技術」のことで、無駄な力を使わず介助者の負担を軽減することができます。7月に開催した講習会では資料を配布し、身体の動かし方や重心の位置など、理学療法士の実演を見て全員で体験しました。

生活支援係 看護師 丸茂



リスクマネジメント委員会
8月度の標語
声あげよう あなたの気づきが事故減らす

読者からの謝辞を頂きました。

編集後記
爽やかな秋風が心地よいこの頃ですが、みなさんはどのような秋をお過ごしでしょうか。当センターの回りにも木々も色付きつつあり、季節の移ろいを日々実感します。日が暮れるのも早くなり、少し寂しい気持ちにもなりますが、イルミネーション等によりこれから街が華やかになりますね。コロナ感染の不安もありますが、状況に柔軟に対応しながら、日々皆さんに楽しく通所していただけるよう、引き続き努めてまいります。